

目次

はじめに	1
「過疎先進地」としての鳥取県／調査の方法と本書の事例	
一 生き方の手本 八頭郡智頭町西宇塚	4
KOさんのこと／思案する、前向きなKOさん／西宇塚の「しゅうと会」／集落の記録／杉の里と那岐特産品開発研究会	
二 林業の盛衰と集落の変化 八頭郡若桜町吉川	13
TSさんのライフヒストリー／夫と舅から林業経営を学ぶ／旧家のしきたりとその変化／林業や建設業の盛衰／吉川という部落／外に向かって開かれていく集落	
三 戦争を経験して、今、心配なこと 八頭郡若桜町小船	20
小船の集落／終戦間際、満州国の学校へ／終戦でほっとしたこと／山仕事が生業の柱／チェーンソーと白蟻病／結婚と青年団活動／青年団の消滅／山の動物による被害／『小船郷土誌』ができるまで／アジサイのこと／小船の今、将来のこと	
四 どんづまりで世間が広がった 岩美郡岩美町鳥越	34
鳥越というところ／冬場の出稼ぎ／過疎化の進行／山のもの／笹のお茶、山菜、キノコなど／どんづまりハウスの始まり／食材は地元のもの／男が受けた事業／山菜定食のこと／どんづまりの仲間／「ヤマガの人」という言われ方／代表YCさんのこと／地区の人たちなど周りの人たちの協力や応援	
五 漁業集落の女性たち 岩美郡岩美町田後	50
田後という集落／田後のお嫁さんたちの仕事／農家と漁家の違い／海上安全の祈願の気持ち／跡を継ぐこと／息子のこと／田後の活性化／田後に嫁に来て／同居の減少／田後の漁業／花が咲く	

六 海女のムラの変遷 鳥取市青谷町夏泊(1)

64

夏泊というところ／海女さんの主な活動時期／NHさんの家／奉公に出る／海女になる
／稼ぎ／青年会、処女会／結婚／子どもの世話／ワカシユヤド／海女と旅館の仕事／収穫
／畑／夫のこと／「海が好き」ということ／オオアマ(大海女)

七 きちんと暮らす 鳥取市青谷町夏泊(2)

83

末っ子でかわいがられた／大阪の会社での話／倉吉での奉公／結婚は二八歳／夫の死／
近所の女性の手助け／アテガイブリ／アキンド／夏泊の念仏／別火のこと／きちんと暮
らす

八 一人一人が大切にされる暮らし 倉吉市関金町明高

96

子どもの頃／明高の集落／葬式組／婚家／自動車の免許／MKさんが外に出ること／む
らおこし／男女共同参画のこと／家族経営協定

九 共同のムラづくり 東伯郡湯梨浜町石脇

108

戸数の変遷／農業経営の変遷／海との関わり／親方子方関係／部落費の徴収方法／色々
な改革／部落共同で進めたこと

おわりに

117

肯定できる何かを持つ人や村

参考文献／協力団体一覧／あとがき